

情報公開方針

1. 目的

本方針は、SUREみらい財団（以下「当財団」）の活動・意思決定・資金の流れを適切かつ分かりやすく社会に公開することで、
透明性・説明責任・社会的信頼を確保することを目的とする。

2. 基本姿勢

当財団は、以下の姿勢を情報公開の基本とする。

1, わかる公開

専門家でなくても理解できる表現を心がける。

2, タイムリーな公開

意味を失わないタイミングで開示する。

3, 公益視点の公開

評価されるためではなく、社会の学びを増やすために公開する。

4, プライバシーと安全の尊重

当事者・支援先の尊厳と安全を最優先する。

3. 公開する情報の範囲

① 基本情報（原則：常時公開）

- ・ 財団名・所在地・設立目的
- ・ ミッション・事業概要
- ・ 組織体制（役員名・体制）
- ・ 定款・各種基本方針（意思決定、利益相反、情報公開 等）

② 事業・活動情報（定期公開）

- ・ 年間活動計画・重点テーマ
- ・ 助成プログラムの概要
- ・ 助成先団体（団体名・事業概要）
- ・ 主な活動報告・成果サマリー

※支援先の安全・事情により、匿名化・一部非公開とする場合あり

③ 財務情報（原則：年次公開）

- ・ 年度収支報告書（収入・支出の概要）
- ・ 助成総額・分野別配分
- ・ 管理費・事業費の区分
- ・ 監事による確認の有無

※詳細な個別契約金額は原則非公開

④ ガバナンス・意思決定情報（要点公開）

- ・ 助成・重要事項の意思決定プロセス概要
- ・ 利益相反への対応方針
- ・ 理事会・評議員会の開催状況（回数・テーマ）

4. 非公開とする情報

以下の情報は、原則として公開しない。

- ・ 支援対象者（個人）が特定される情報
- ・ NPO職員・関係者の個人情報
- ・ 安全確保上のリスクがある情報
- ・ 未成熟な構想・交渉中情報
- ・ 法令または契約上、開示が制限される情報

👍 「公開しない判断」も、公益性と安全性に基づく

5. 情報公開の方法

- ・ 公式Webサイト
- ・ 年次活動レポート（PDF）
- ・ ニュースレター・SNS（要点）
- ・ 寄付者・支援者向け個別報告

※媒体ごとに「深さ」を変え、同一内容の多層発信を行う

6. 情報公開の頻度（目安）

基本情報 → 随時

事業・助成情報 → 半期～年次

財務情報 → 年1回

ガバナンス関連 → 年1回／変更時

7. 説明責任と問い合わせ対応

- ・ 問い合わせ窓口を設置

- ・ 公開情報に関する質問には誠実に対応
- ・ 指摘・意見は今後の改善に活かす

8. 方針の見直し

- ・ 本方針は、年1回を目安に見直しを行う
- ・ 社会環境・事業内容の変化を反映する

9. 付記

当財団にとって情報公開とは、

「見せるための報告」ではなく、「信頼を育てる対話」である。

語れる活動だけを行い、

語れないことは、まだやらない。